



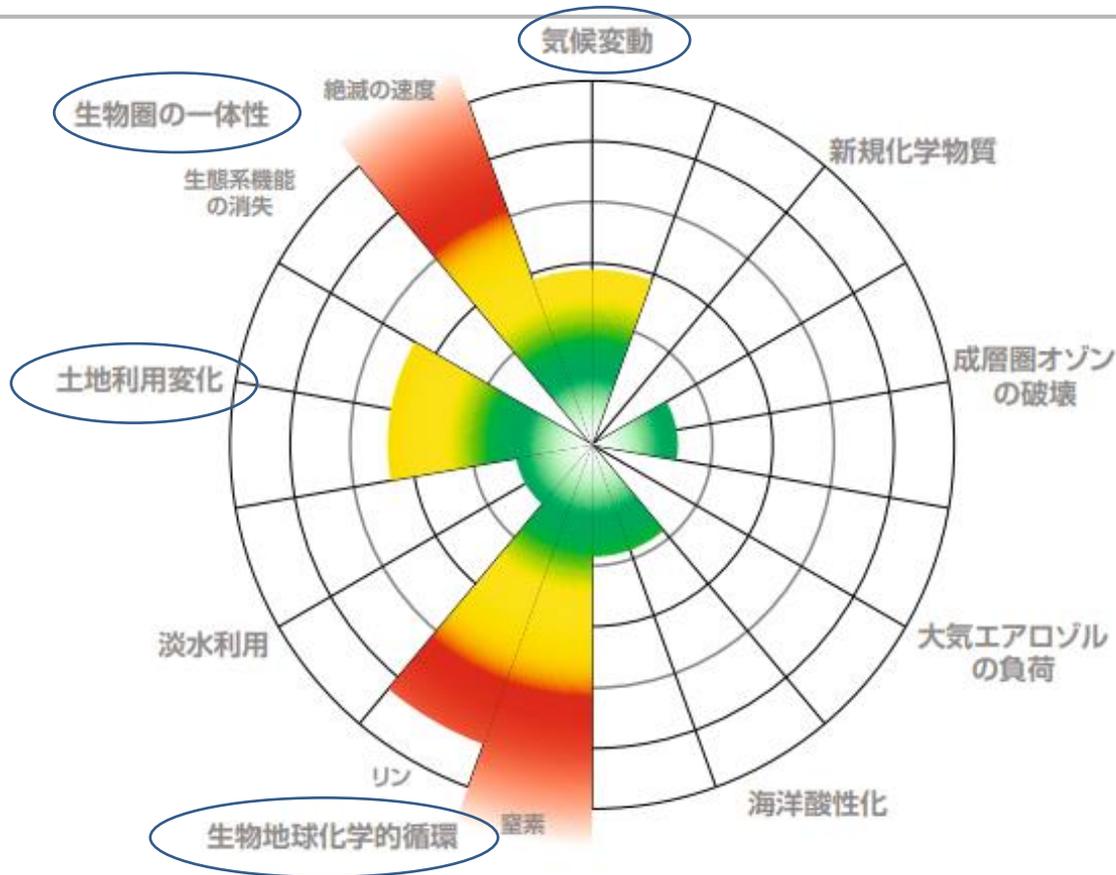
地球環境の現状と 2030年目標

2020年10月28日
WWFジャパン
清野比咲子



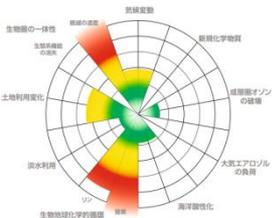
地球の緊急事態

「地球の限界」をすでに超えている



9項目のうち、
4つが安全域を
越えてしまった

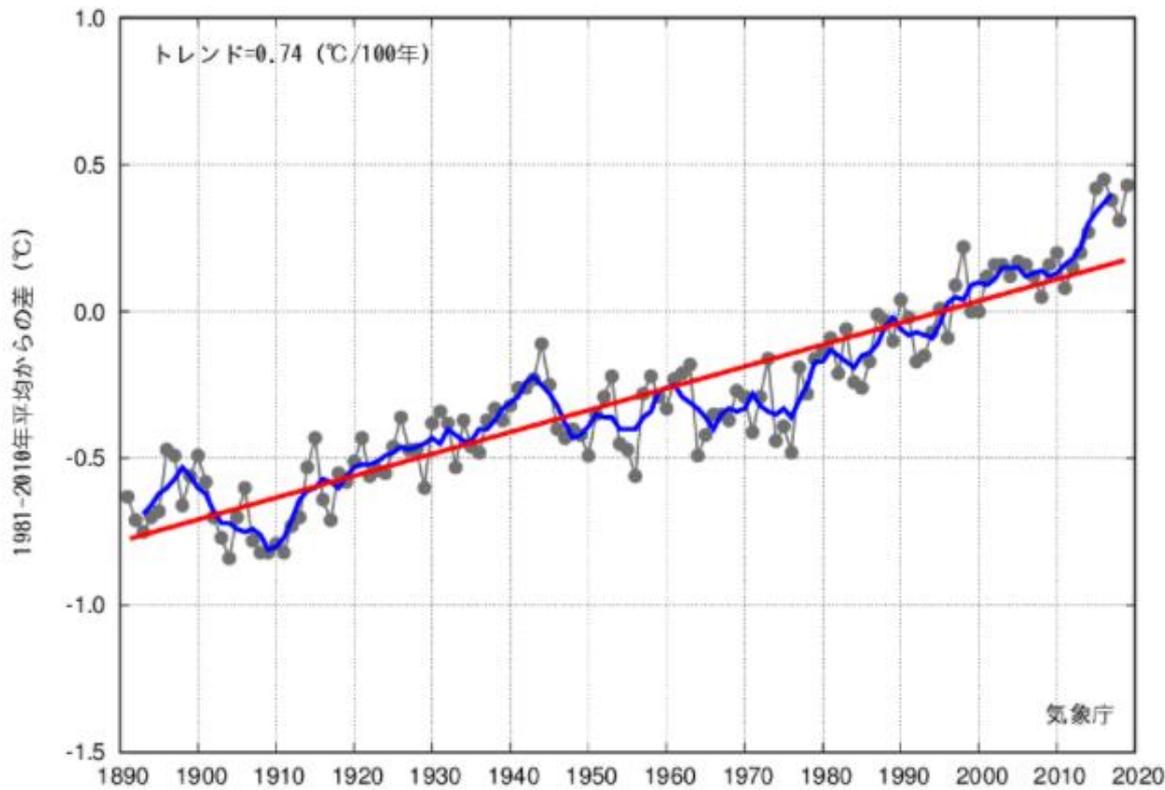
(出典 : Will Steffen et al. Planetary boundaries: Guiding human development on a changing planet,2015)



気候：世界の平均気温は上昇



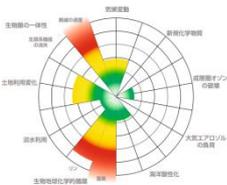
世界の年平均気温偏差



2019年の世界の平均気温の基準値※からの偏差は +0.43°C。
1891年の統計開始以降、**2番目に高い値**

※1981~2010年の平均値

(出典：気象庁HP, https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/temp/an_wld.html)



生物多様性：過去50年で3分の2消失

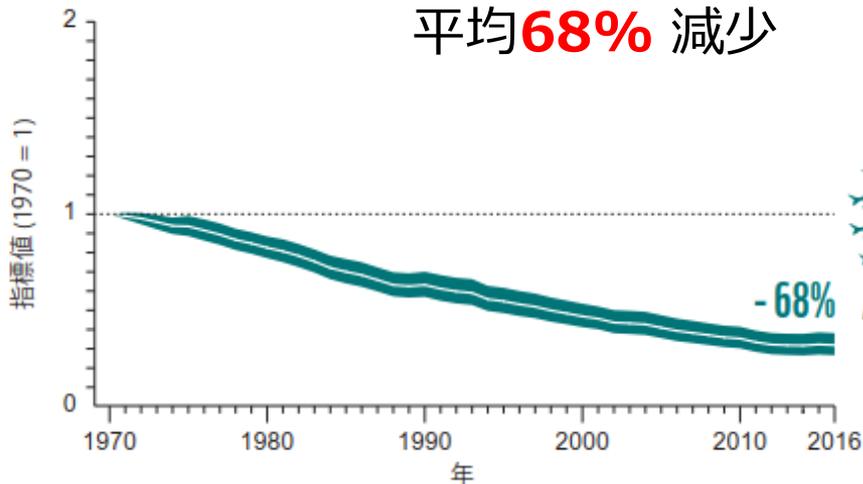


「生きている地球指数」※

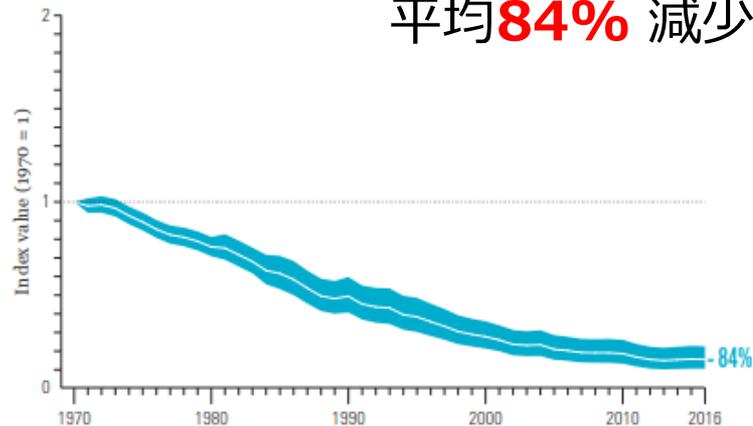


アメリカマナティ

世界全体：1970～2016年に
平均**68%** 減少



淡水域：1970～2016年に
平均**84%** 減少

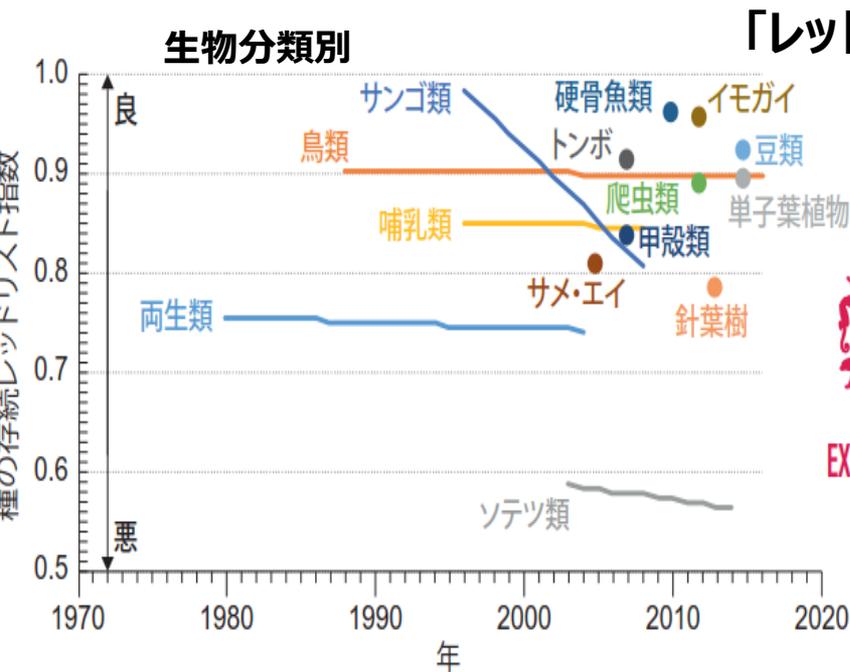


※ 対象：脊椎動物
(哺乳類、鳥類、両生類、爬虫類、魚類)4,392種、
20,811個体群

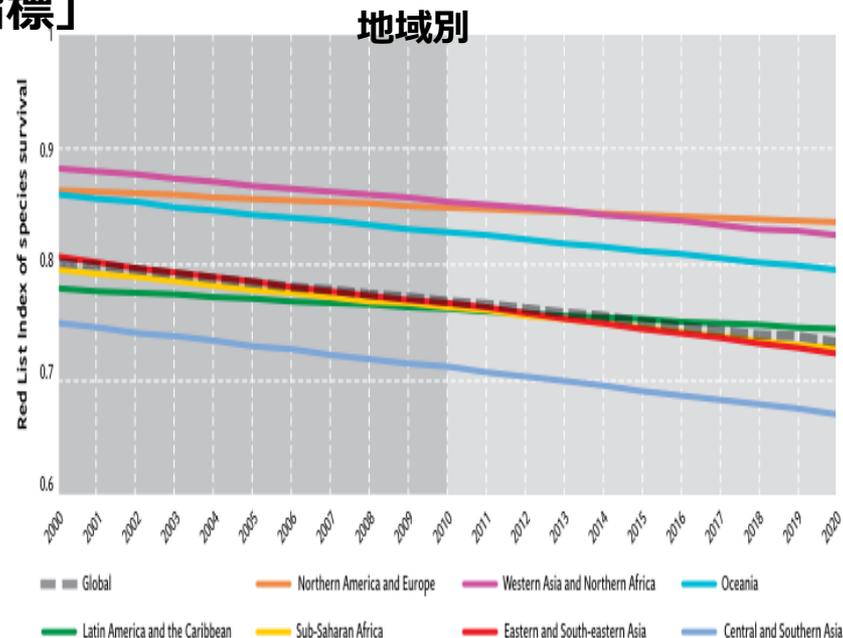
(出典：生きている地球レポート2020, WWF,2020)



種の絶滅速度は過去1000万年間の平均の数十倍～数百倍の速さ



(出典: Red List Index, IUCN, 2020)

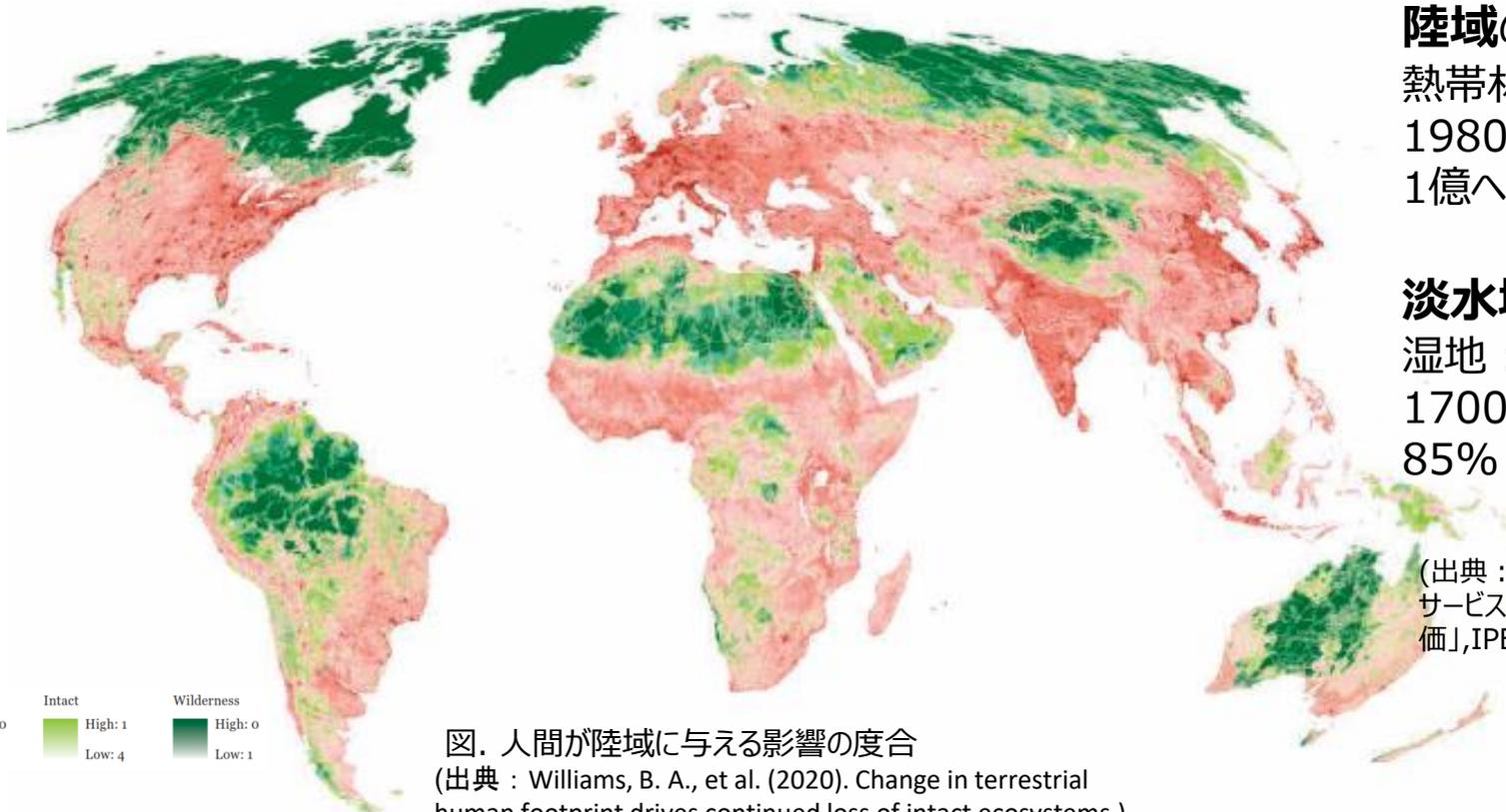
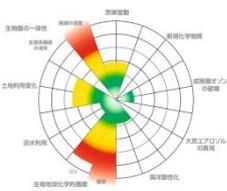


(出典: Global Biodiversity Outlook 5, CBD事務局, 2020)

動植物：800万種中約100万種がすでに絶滅の危機

(出典: 「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価」, IPBES, 2019)

土地利用の変化：ダメージを受けている地域増加



陸域の75%は改変
熱帯林：
1980-2000年に
1億ヘクタール消失

淡水域
湿地：
1700～2000年に
85% 以上が消失

(出典：「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価」,IPBES, 2019)

図. 人間が陸域に与える影響の度合
(出典：Williams, B. A., et al. (2020). Change in terrestrial human footprint drives continued loss of intact ecosystems.)

Damaged High: 50 Low: 4
Intact High: 1 Low: 4
Wilderness High: 0 Low: 1

パンデミックの背景は 自然破壊

75%
動物由来感
染症が新興
感染症に占め
る割合

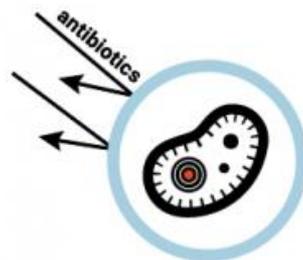
動物由来感染症を引き起こす要因



農地のための
森林伐採



違法・管理されない
野生動物取引



抗菌薬耐性



農業・畜産業
の生産拡大

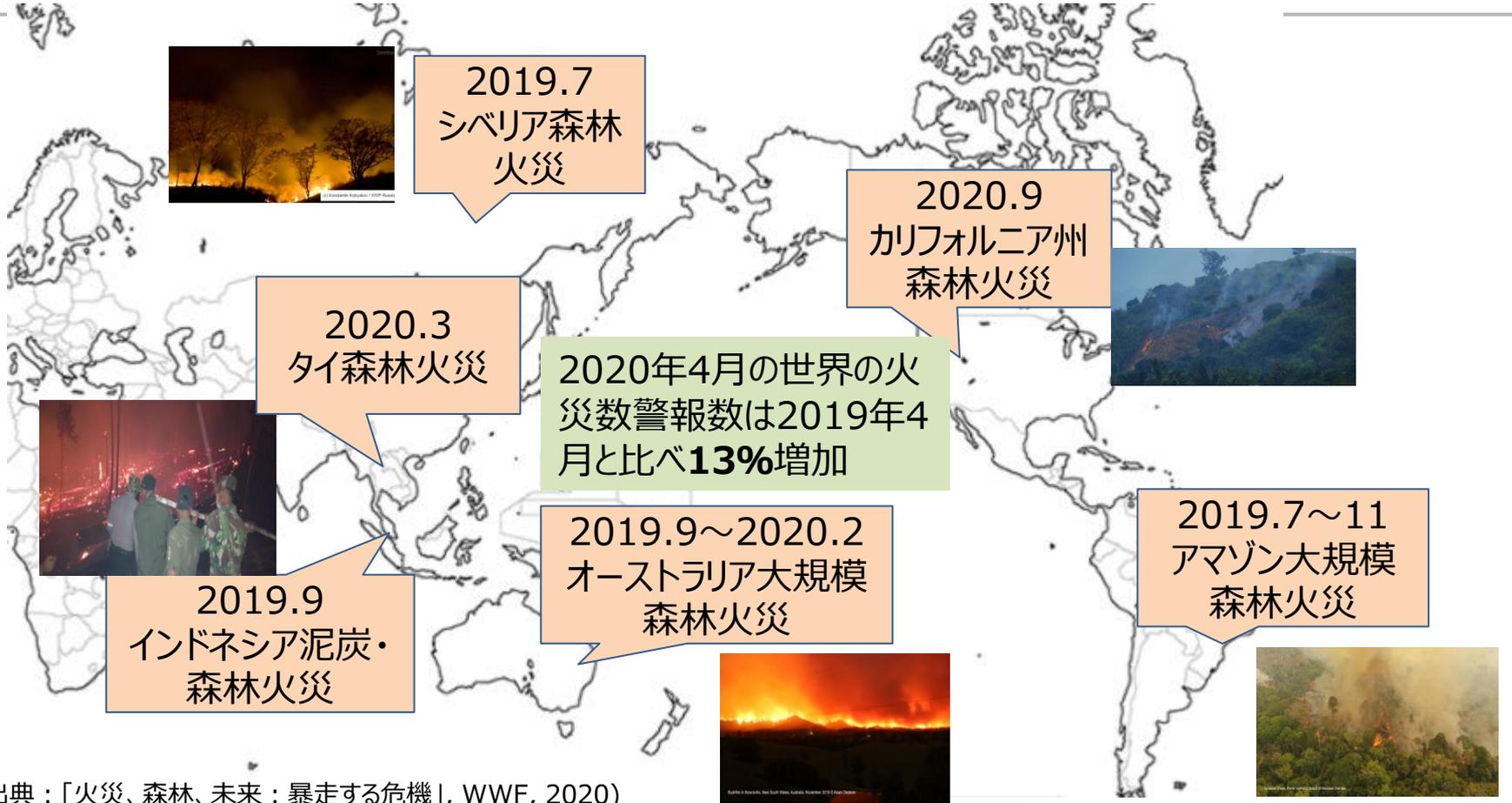


地球温暖化

Source: UNEP Frontiers 2016 Report

#COVID19

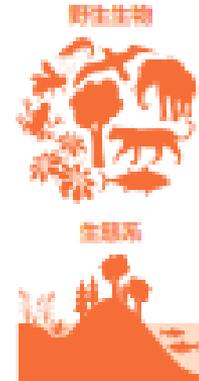
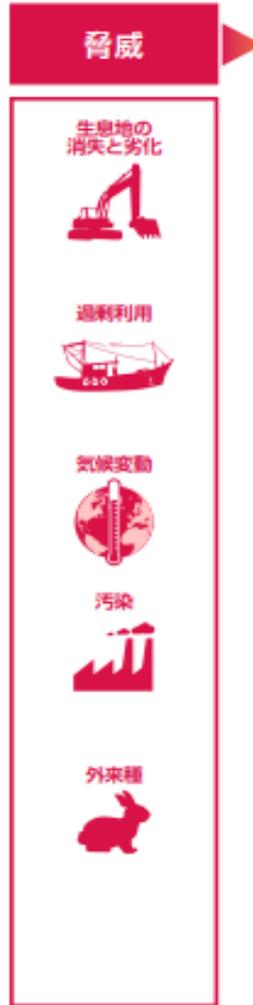
森林火災の増加



(出典：「火災、森林、未来：暴走する危機」, WWF, 2020)

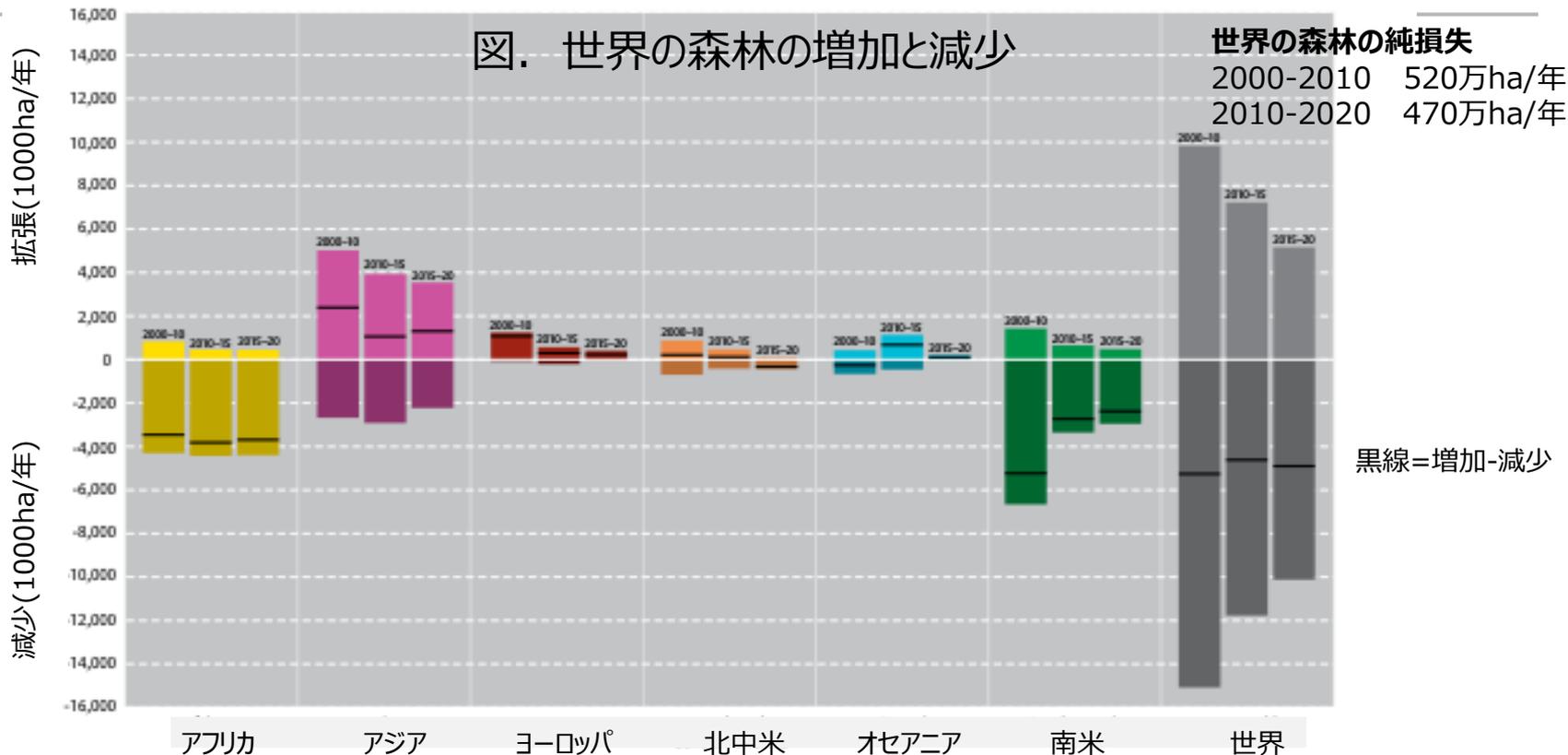


生物多様性 減少の原因



人間の行動が
生物多様性への圧力
や脅威

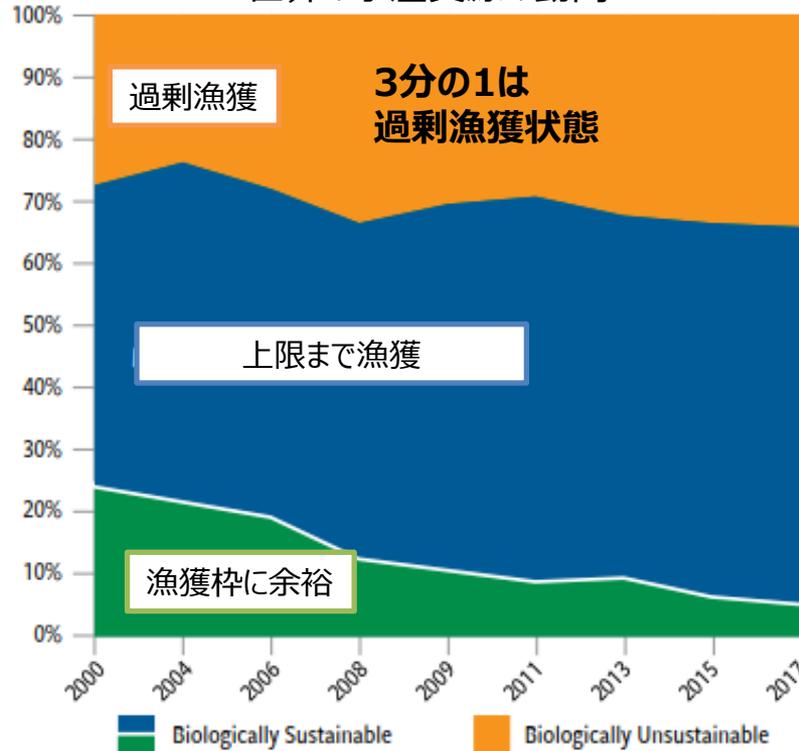
生息地の消失：森林の減少は続く



(出典：Global Biodiversity Outlook 5, CBD事務局, 2020)

過剰利用：水産資源の枯渇

世界の水産資源の動向



海洋の 66% は 人の影響下

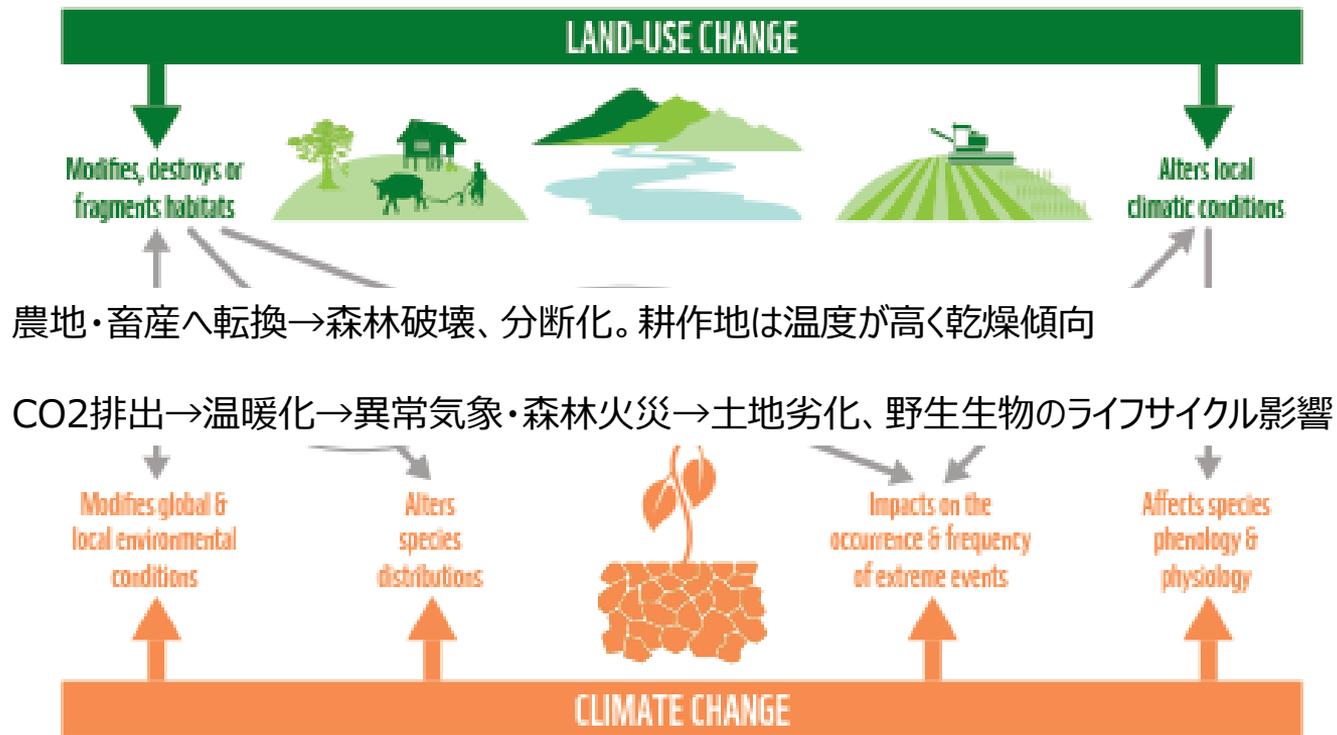
サンゴ礁：過去150年間に50%消失

(出典：「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価」, IPBES, 2019)

(出典：Global Biodiversity Outlook 5, CBD事務局, 2020)



生息地の消失と気候変動による相乗的な悪化



ブランブル・ケイ・メロミス
哺乳類初の気候変動による絶滅

環境負荷：地球1.6個分の自然資源を消費



エコロジカル・フットプリント
消費・廃棄量は
地球の生産能力を
60%超過

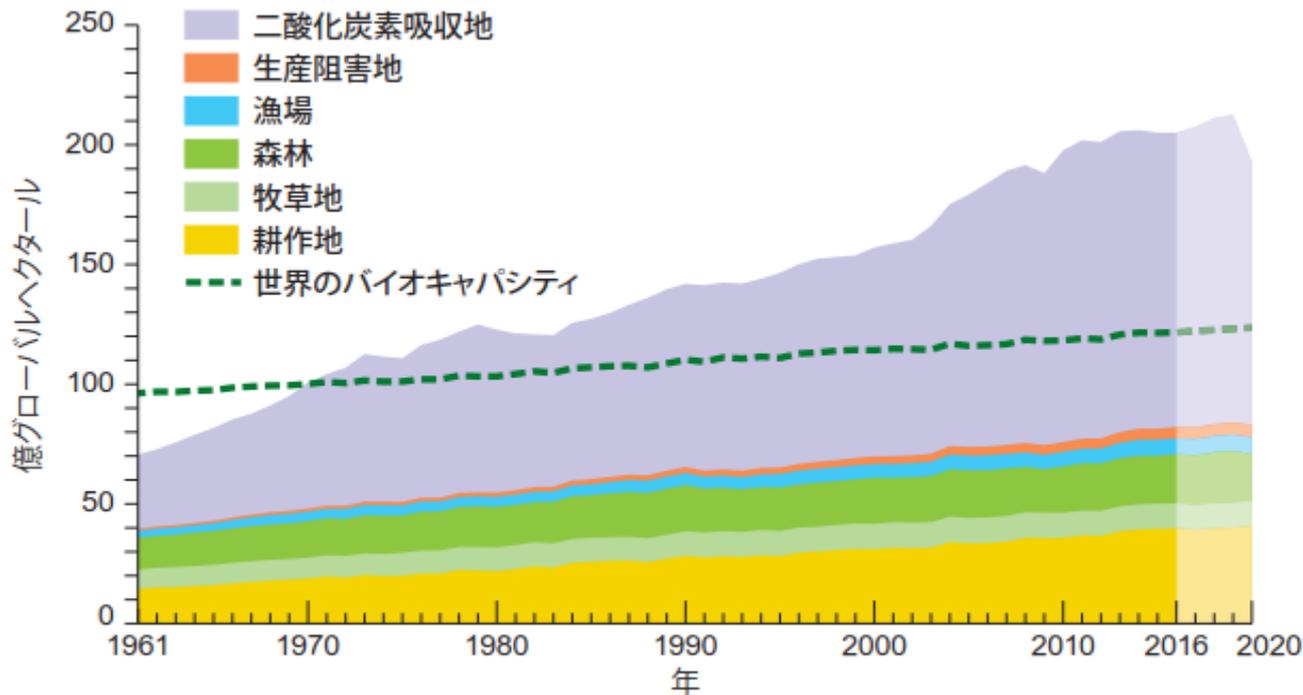


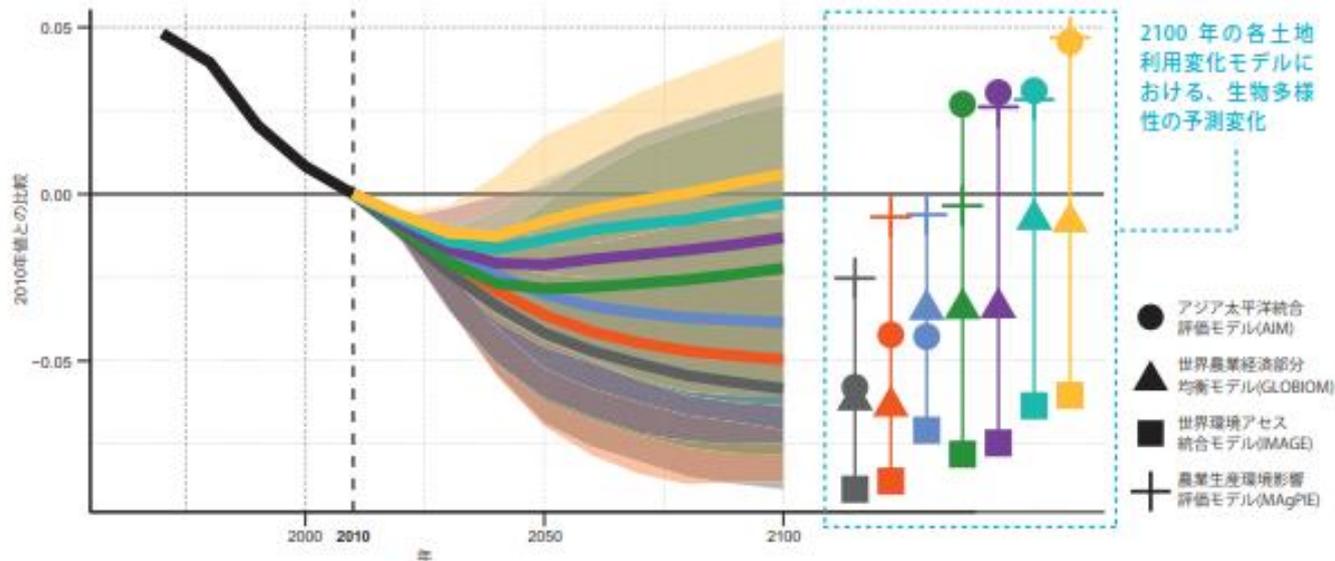
図 世界のエコロジカル・フットプリント推移
(出典：グローバル・フットプリント・ネットワーク, 2020)





2030年目標 国際的なアクション

生物多様性の回復には、生息地の保全+持続可能な生産+持続可能な消費



- このまま何もなかった場合**
社会、経済はこれまでどおり、環境保全と持続可能な生産と消費への取り組みは限定的
- 環境保全強化シナリオ**
環境保全地域の拡大と管理、回復計画強化の場合
- 持続可能な生産シナリオ**
農業の生産と貿易において持続可能性を強化した場合
- 持続可能な消費シナリオ**
食の廃棄を削減、食肉の消費減などを対策した場合

- 環境保全 + 持続可能な生産シナリオ**
環境保全強化と持続可能な生産対策を組み合わせた場合
- 環境保全 + 持続可能な消費シナリオ**
環境保全強化と持続可能な消費対策を組み合わせた場合
- 環境保全 + 持続可能な生産 + 持続可能な消費シナリオ**
環境保全強化、持続可能な生産、持続可能な消費対策のすべてを組み合わせた場合

生物多様性の回復には、持続可能な食の生産・消費策が必須

2030年までに生物多様性回復軌道へ

生物多様性の損失を食い止め、地球と人類の発展のために自然回復の道筋が定まる

問題

自然の大規模な破壊



野生動植物の壊滅的減少



自然資源の持続可能でない生産と消費



目標

生息地の保全と回復



生物の多様性保全



生産と消費の負荷半減



解決策

- ・少なくとも30%は保護区、他は持続可能な管理下に置くこと
- ・生息地を回復すること
- ・先住民の土地と水の権利を認めること



- ・人間の行為による絶滅をなくすこと
- ・種の個体数を回復させること
- ・野生生物の持続可能でない捕獲や取引をなくすこと



持続可能な習慣への転換

例：
食料システム、農業、漁業、林業、社会基盤整備など

利益



90億人の水



90億人の食料



生物多様性



安定気候



人間の健康と福祉



国連 持続可能な開発目標 (SDGs)



健全な地球環境
なくして、経済発展なし



(出典：ストックホルムレジリエンスセンター資料からWWF作成, 2016)

自然回復へ各セクターが動き始める



政府

「自然回復への誓約」

2030年までに
生物多様性の
回復軌道へ

企業

「自然はみんな
に関わること」



市民・NGO

「自然回復の
世界目標」

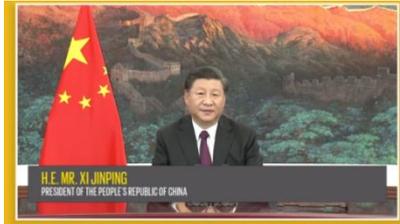


国連 生物多様性サミット9/30開催

- 持続可能な開発のための生物多様性に関する緊急行動 -

9/21 国連創設75周年記念ハイレベル会合にて創設75年記念宣言採択。
具体的項目のひとつとして「地球環境の保全」

グテーレス事務総長
「自然破壊は単なる環境問題ではなく、
経済や衛生、社会的正義、人権も関係する。
私たちは進路を変え、自然界との関係を変容させなければならない。」



UN SUMMIT ON BIODIVERSITY



UN SUMMIT ON BIODIVERSITY



UN SUMMIT ON BIODIVERSITY



UN SUMMIT ON BIODIVERSITY



UN SUMMIT ON BIODIVERSITY

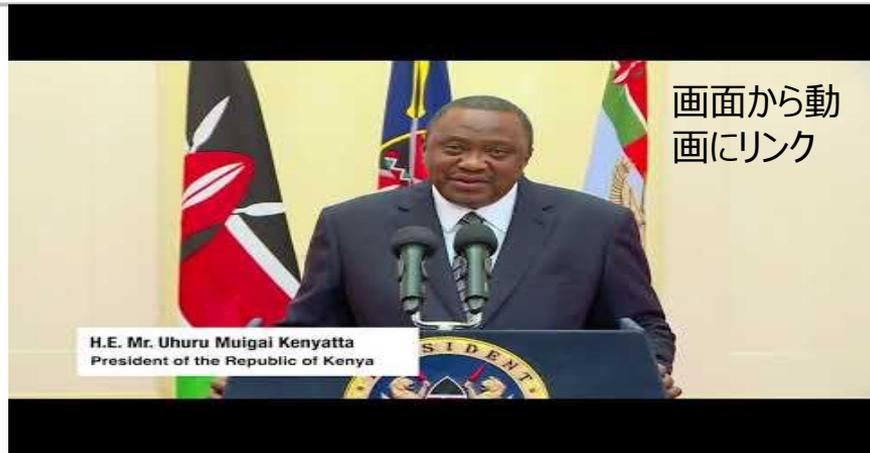


国連 自然と人々のためのリーダーズ・イベント 9/28開催

- 各国リーダーたちの「自然回復の誓約」-



78カ国・共同体と47市民NGOが参加
リーダーによる「自然回復の誓約」



CO-HOSTS					PARTNERS	
AOSIS	BELIZE	BHUTAN	COLOMBIA	COSTA RICA		
EU	FINLAND <small>Permanent Mission of Finland to the United Nations</small>	KENYA	SEYCHELLES	UK <small>United Kingdom Mission to the UN</small>	GLOBAL COMMONS ALLIANCE <small>A PLAN FOR THE PLANET</small>	Planetary Emergency Partnership



企業が政府へ呼びかけ 9/21 自然回復への緊急行動を



約54カ国600社が参加
「自然はみんなに関わること」

- 健全な社会、回復力のある経済、繁栄するビジネスは自然環境に依存している
- 各国政府は、この10年間での自然損失を回復させるための政策を、今すぐ採用する必要がある。
- 共に自然資源を保全し、回復させ、持続可能な形で利用しよう



CREATING A POSITIVE FEEDBACK LOOP



<参考> 主な引用資料とリンク先

- 「生物多様性と生態系サービスに関する地球規模評価報告書政策決定者向け要約」([和訳](#)), 2019, IPBES
- 地球規模生物多様性概況第5版([GBO : Global Biodiversity Outlook 5](#)), 2020, CBD事務局
- 「[生きている地球レポート2020 概要](#)」 ([和文ファクトシート](#)), 2020, WWF
- [Too hot to handle: A Deep dive into biodiversity in a warming world](#), 2020, WWF
- [「火災、森林、未来：暴走する危機」](#), [2020, WWF](#)

- [Leaders' Pledge for Nature](#) (和訳：[自然回復の誓約](#))
- [Business for nature](#), 「自然はみんなに関わること」
- [Nature Positive by 2030](#)



©

®

WWF

<https://www.wwf.or.jp/>